

教育学研究科修士課程入学試験を受験予定の皆様へ

1. 外国語（英語）筆記試験の形式、出題方針について

外国語（英語）試験は、専門科目とは別に独立の試験として実施します。試験時間は2時間です。研究科全体で共通の問題ではなく、出題はコースごとに行います。また、2020年度以前は英文和訳問題を出題していましたが、昨年度と同様に各コースの教育研究分野に即した出題を行うこととし、出題方式は英文和訳に限らないこととします。過去の入学試験問題を用いて準備する場合はこの点に留意して下さい。

ただし、この場合でも、スピーキングやリスニングに関わる英語力を問うことはありません。

2. 外国語（英語）筆記試験時の英語辞書の使用について

募集要項にも記載した通り、外国語（英語）筆記試験の実施に際しては英和辞典1冊を用いることを許可します。ただし母語が日本語以外の受験者は、英和辞典の代わりにそれ以外の言語の組み合わせの二か国語の辞書を用いてもかまいません。辞書は、印刷されたものに限りです。それ以外の辞書（電子辞書など）や、研究科から指定されたもの以外の文献や資料、研究科から指定されたもの以外のインターネットやソフトウェアを使用したりすることは不正行為となります。

3. 第二次試験（口述試験）について

第一次試験合格者に対して実施します。第一次試験合格者には第二次試験（口述試験）の前日までに実施要領を出願時のメールアドレスに通知します。出願時に、確認のできるメールアドレスを必ず記載して下さい。

口述試験は受験者1名と各コースの全教員により、研究科が指定するオンライン会議システムを使用して実施します。